

紋別市における地域公共交通活性化・再生総合事業(計画事業最終年度)

紋別市地域公共交通総合連携計画の目標

本市の市民生活を支える公共交通として地域で安心安全に暮らすことができる環境の確保に向けて、地域全体でバス交通を支えるとともに、継続可能な公共交通体系の構築を目指す。

また、地域の商店街や観光施設、地場産業とも連携し、地域の活性化に寄与する公共交通を目指す。

23年度総合事業計画の概要

主要事業

- ・上藻別線予約バス実証運行事業 ・商店街連携事業
- ・バス待ち環境改善事業 ・実証運行等調査分析

1) 紋別市上藻別線予約バス実証運行事業

運行期間：H23.10～H24.3
 運行ルート：別紙「上藻別線予約バス運行ルート図」のとおり
 運行本数：平日8便、土休日6便(予約区間平日4便、土休日6便)
 運賃：紋別BT～南4：200円、～公住前：300円、予約区間：500円
 運行事業者：北紋バス株式会社

2) 商店街連携事業

商店街と連携のもと、バス利用者に対して商店街で利用できるクーポンを発行し、バス利用の増加と商店街への来店機会拡大の相乗効果を図ることを目的とし、右クーポン券を市内線降車の際に取得し、加盟店でサービスを受けられる。(サービスカード、ステッカー、ポスター作成)



3) バス待ち環境改善事業

市内循環線が老朽化及び破損しているバス停標識を分かりやすく、かつオリジナリティーが高く、安価なものを選定し統一感を持って、バス待ち環境を改善するとともに、バスに対するイメージアップに繋げる。(右写真は循環線が交わる停留所)



紋別市地域公共交通活性化協議会開催状況

平成23年5月24日 第13回協議会を開催
 主な協議事項：H22事業報告及び決算報告、平成22年度事業計画(案)及び予算(案)

平成23年8月30日 第14回協議会を開催
 主な協議事項：各事業の実施詳細について(予約バス実証運行、バス待ち環境事業、商店街連携事業)

平成24年1月15日 第15回協議会を開催
 主な協議事項：各事業のアンケート調査及び乗降調査結果(予約バス、循環バス、商店街連携事業)

平成24年3月27日 第16回協議会を開催予定
 主な協議事項：各事業の最終状況及び決算案を予定

4) 広報もんべつ

実証運行開始の1ヵ月前の広報にて予約バスの運行内容(ルート・運賃等)を案内する。新聞記事は別添資料のとおり。

10月1日から上藻別線予約バス実証運行を実施します

紋別市地域公共交通活性化協議会では、赤字が懸念されている上藻別線をこれまでの定期運行から一部運賃を予約制として、乗客を確保する実証運行を行います。

また、市内路線を一括見直し、異物や病院など利用しやすい路線等を行い、継続運行を目指し実施します。

運行区間 上藻別線(藻別～元紋別公住前～バスターミナル)と元紋別公住前間の間は定期運行です。

予約期間 10月1日～平成24年3月31日
 (1週間前からの予約可能)

予約方法 上藻別線から利根川までの間で乗車される場合、予約が必要となります。

下記時刻表で乗車する時刻の、1時間前までに電話予約してください。予約者は乗車無料です。

予約受付時間09時～18時
 (1週間前からの予約可能)

予約先 北紋バス株式会社 電話0142165番

運賃 予約バス実証運行
 上藻別線(藻別～元紋別公住前) 6歳以下(保護者利用)無料

〇定額運行区間
 ・バスターミナル～南4が長4 200円
 ・バスターミナル～元紋別公住前 300円

〇その他
 ・乗車額+消費税+乗車料の乗車
 ・100円以内(乗車額)にて乗車券発行
 ・乗車券の発行は1人乗車100円
 ・定額券及び別乗車券の発行あり

【時刻表】 〇日祝日運休 大特急は予約制

区間	市内行き	
	上藻別線	元紋別公住前
上藻別線	7:18	8:45
中藻別	7:27	8:54
赤生線	7:34	9:01
利根川	7:36	9:03
元紋別公住前	7:38	9:05
スタア前	—	—
南4	7:43	9:10
ハローワーク	7:48	9:15
南4	7:48	9:15
公住前	7:51	9:18
バスターミナル	7:53	9:20
バスターミナル	7:56	9:23
上藻別線	8:06	9:33
イオン	8:09	9:36
公住前	8:11	9:38
南4	8:14	9:41
ハローワーク	—	—
南4	8:17	9:44
バスターミナル	—	—
元紋別公住前	8:22	9:49
利根川	14:15	17:00
赤生線	14:17	17:02
中藻別	14:24	17:09
上藻別線	14:33	17:18

23年度事業の実施状況

1) 上藻別線予約バス実証運行におけるプロセス、創意工夫

実証運行の3ヵ月分(24.10~24.12)の乗降調査の結果及び利用者アンケート調査から改善策の検討

(実態に合った利用者ニーズの把握、運行収支改善など)

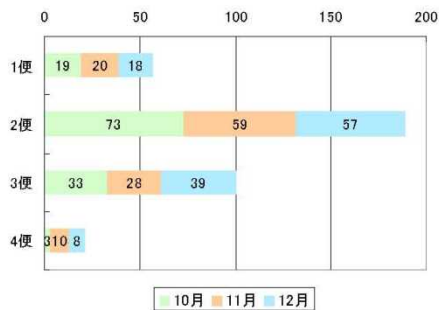
利用者によりわかりやすく

新規利用者の発掘(地域住民説明会の開催(2地区各2回)、登録を促すダイレクトメールの発信等)

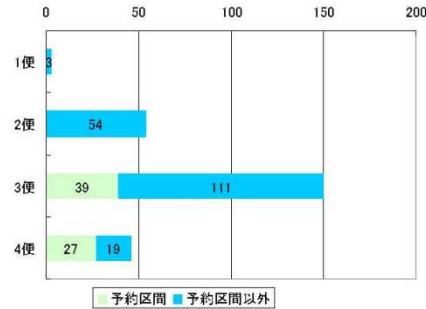
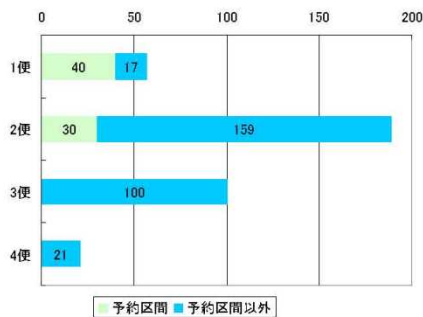
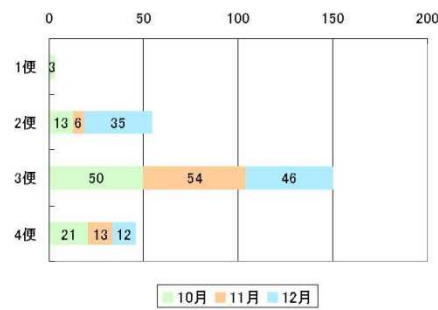
バスに対する住民の興味・関心(乗ろうよバスの会でのPR~北紋バス)

2) 利用実績(3ヶ月間)

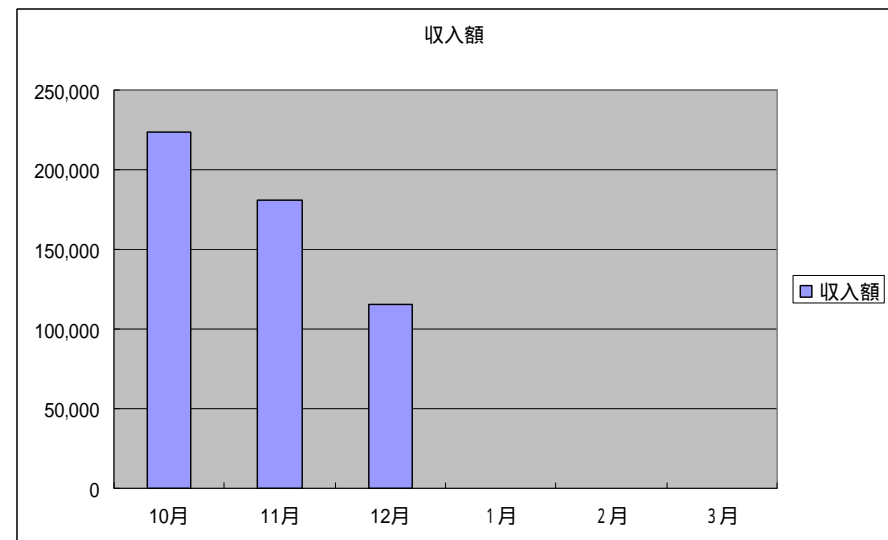
<上藻別 バスターミナル>



<バスターミナル 上藻別>



3) 収入実績(3ヶ月間)



4) 事業実施効果

実態にあった利用者ニーズの把握・運行ルート改善
バス利用環境改善: 待合施設の設置・改修
商店街連携事業: バスを利用しての中心市街地への誘客
わかりやすさ: バス停留所の標識の色分け

自己評価のポイント

・実態にあった利用者ニーズの把握に努め、上藻別線で予約バス実証運行を行った。予約制にすることにより、運行経費を縮小することができた。
・バス利用環境改善策として、待合施設・停留所標識の設置・改修を行った。
・商店街連携事業として、バス利用者に対して商店街で利用できるサービスカードを発行し、バス利用の増加と商店街への来客機会拡大の相乗効果を図った。

5) 今後の課題

1年間を通じた安定収支
新規利用者の発掘
人口減等による利用者減少
時代の変化に対応した利用者ニーズの把握と改善
車両の更新

二次評価のポイント

・自己評価のとおり。
・平成23年4月から本格運行に移行した循環バスの平成22年度実証運行収支が黒字だったことから、この好例を踏まえ、上藻別線予約バスの本格運行に向けた更なる取り組みに期待する。
・商店街との連携については、サービスカードの利用動向等の分析をし、引き続き実施され、相乗効果が現れることを期待する。